

第二部：コロナで人々の行動・意識がどう変わったか

COVID-19対応行動 日英独アンケート調査 結果速報

リスク認知，不安などに着目して

筑波大学 谷口綾子

石橋拓海・河合晃太郎

南手健太郎・宮谷台香純

プレゼンの構成

2

1. Research Questions

2. 日英独のCOVID-19対策

3. 調査概要

4. 分析結果速報

i. そもそも、どの交通手段が好き？

交通手段別態度

ii. 今、どのくらい不安？

不安尺度

iii. どんなリスクだと思っている？

リスク認知

iv. みんな、自粛していると思う？

自己と他者行動の評価

v. どのくらい行動を変えた？

衛生行動と外出行動

vi. 誰の要請で行動を変えた？

5. まとめ

Research Questions




1. 日英独の個人特性(態度, 不安感, リスク認知, 大衆性, 疎外尺度)は異なっている？
2. 新型コロナウイルスで, 人々の行動は変わった？
3. 各国の政策や個人特性が, 行動変容に影響？

MMIに資することを目的とした調査ではありません。
行動変容の規定因の分析は今後の課題です。

日英独の基本情報

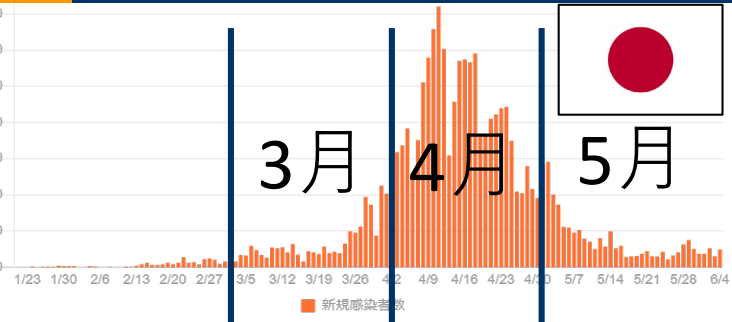
2015-2019の各種統計より

4

項目	日本 	英国 	ドイツ 			
面積	377,915km² (陸地364,485km ² , 水域13,430km ²)		243,610km² (陸地241,930km ² , 水域1,680km ²)		357,022km² (陸地348,672km ² , 水域8,350km ²)	
	東京 2,194km ²	愛知 5,173km ²	Greater London 1,738km ²	West Midlands 12,998km ²	Berlin 1,347km ²	Nordrhein- Westfalen 34,097km ²
人口	126,168,15610 (10位)		65,105,246 (22位)		80,457,737 (19位)	
	13,754,043	7,554,204	10,585,000	5,860,706	4,120,000	17,842,000
道路全長	1,218,772km (6位) (高速道路 8,428km)		394,428km (18位) (高速道路 3,519km)		625,000km (12位) (高速道路 12,996km)	
自動車生産量	9,693,746台 (2017)		1,749,385台 (2017)		5,645,581台 (2017)	
1000人当たり 生産台数	77台		27台		70台	
主な車 メーカー	Toyota, Honda, Mazda, Mitsubishi, Nissan, Subaru, Suzuki		Aston Martin, Bentley, Jaguar Land Rover, Lotus, Mini, Rolls-Royce, Vauxhall		Volkswagen, Audi, BMW, Ford-Werke GmbH, Mercedes- Benz, Opel, Porsche	

日英独のCOVID-19実態(2) 新規感染者数推移

5



Total CASES

17,103

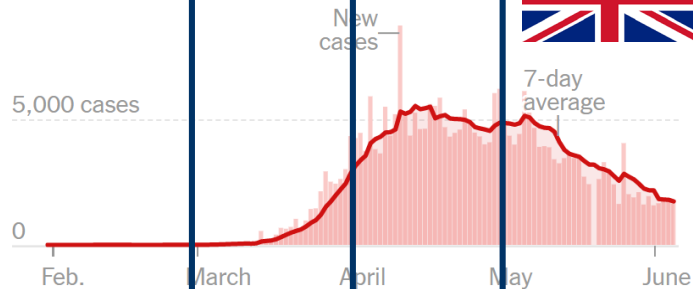
DEATHS

914

縦軸スケール
日本と英独で
10倍異なる

日本の緊急事態宣言
4月7日7都府県
4月16日全国拡大
5月14日39県解除
5月25日全国解除

By The New York Times Updated June 6, 2020, 12:18 A.M. E.T.



TOTAL CASES

283,311

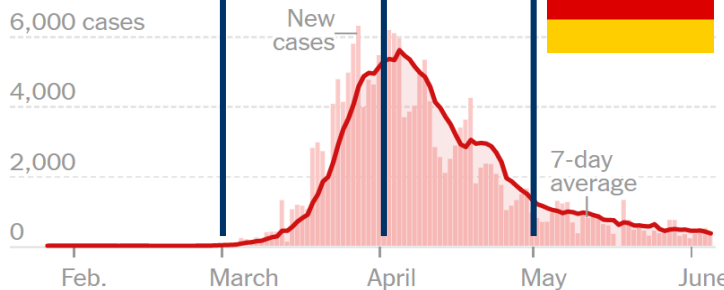
DEATHS

40,261

Includes confirmed and probable cases where available

英国の外出禁止令
3月23日夜～
6月1日6名まで屋外集会可.
2mの距離が条件

By The New York Times Updated June 6, 2020, 12:18 A.M. E.T.



TOTAL CASES

183,678

DEATHS

8,646

Includes confirmed and probable cases where available

ドイツの外出禁止
3月12日連邦政府のガイドライン
に沿って州政府が判断
現在、段階的に緩和されている
マスク着用は義務

Yahoo Japan: <https://news.yahoo.co.jp/article/20200207>

日英独のCOVID-19対策

6

対策の方向性	概要	特徴	実施国
デジタル監視	<ul style="list-style-type: none"> ITによる行動・健康状態監視により感染者を隔離 必要に応じて移動規制を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 濃厚接触者の隔離により感染者数増加を強力に抑制 部分的収束まで短期間で到達可能 	<ul style="list-style-type: none"> 中国 韓国 台湾、等
都市封鎖と緩和	<ul style="list-style-type: none"> 移動規制・解除を繰り返して感染者数を制御 	<ul style="list-style-type: none"> 部分的収束まで短期間で到達可能 早期のロックダウン、感染者追跡、潤沢な医療資源のいずれかが感染制御の成功要因 ただし強い移動規制による経済活動の停滞や、規制・解除の反復による経済崩壊が懸念される 	<ul style="list-style-type: none"> ニュージーランド ドイツ 英国 イタリア、等
緩い規制と啓発	<ul style="list-style-type: none"> 一定の経済活動を継続 クラスター対策等で感染者数制御 	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動と感染拡大抑制の両立が可能 感染者数急増時への対応が後手に回る可能性 また、感染者数急増による医療崩壊誘発の懸念 	<ul style="list-style-type: none"> 日本 オーストリア
自主性の尊重	<ul style="list-style-type: none"> 個人の自由を尊重し、通常に近い経済活動を継続 	<ul style="list-style-type: none"> 集団免疫の早期獲得が可能 移動規制を実施しないため経済活動を継続可能 感染者急増による医療崩壊の懸念 	<ul style="list-style-type: none"> スウェーデン ブラジル、等

英国
都市封鎖
と緩和

ドイツ
都市封鎖
と緩和

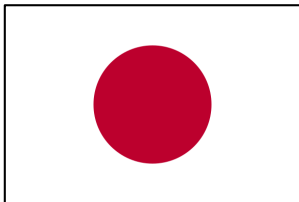
日本
緩い規制
と啓発

新型コロナウイルス感染症の収束に向けた各国の出口戦略の方向性
(アーサー・ライトル・ジャパン作成)

日経新聞：<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO59366840R20C20A5000000/>

日英独市民アンケート調査 —概要—

- 対象：日本・イギリス・ドイツの一般市民
- 回答方式：WEBアンケート調査
- 調査時期：2020年5月7日～5月15日
- 対象者：各国500名 性・年代・居住地を均等割り付け
 - ・年代(20-60代)
 - ・居住地：首都 & 自動車製造業をもつクルマ依存度高い地域



日本 (2020)

調査対象：日本一般市民

500名

(東京23区250・
愛知250)



イギリス (2020)

調査対象：英国一般市民

500名

(London250・
West Midlands250)



ドイツ (2020)

調査対象：独国一般市民

500名

(Berlin250・Nordrhein
Westfalen250)

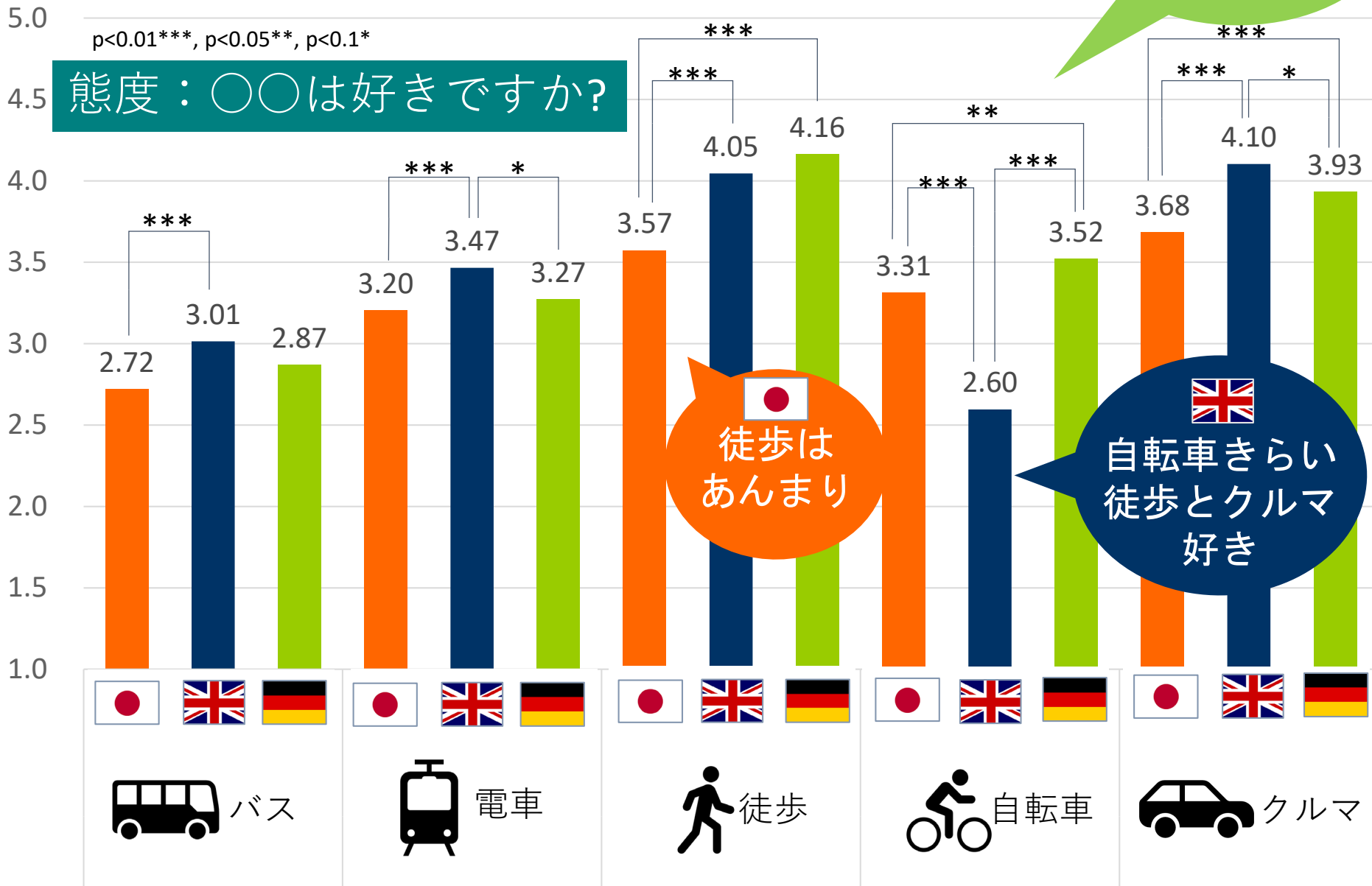
交通手段への態度: 3か国比較

8

クルマ・自転車
徒歩が好き

p<0.01***, p<0.05**, p<0.1*

態度：〇〇は好きですか？



徒歩は
あんまり

自転車くらい
徒歩とクルマ
好き

不安尺度STAI, 社会的不安尺度FNE

【不安尺度: State-Trait Anxiety Inventory (STAI)】

Spielberger, C.D., Gorsuch, R.L., and Lushene, R.E.(1970) STAI manual, Consulting Psychologists Press, California.

■「状態不安」state-anxiety

ある状況下で大きく変動するような状態としての不安

何か不安である / 神経質になっている / 心に悩みがある

■「特性不安」trait-anxiety

ある個人において比較的一定していると言われる**性格特性としての不安**

難しいことが重なって、もうどうにもならないと感じる / 物事を難しく考えてしまう傾向がある / さほど重要でも無いことが気になって悩んでしまう

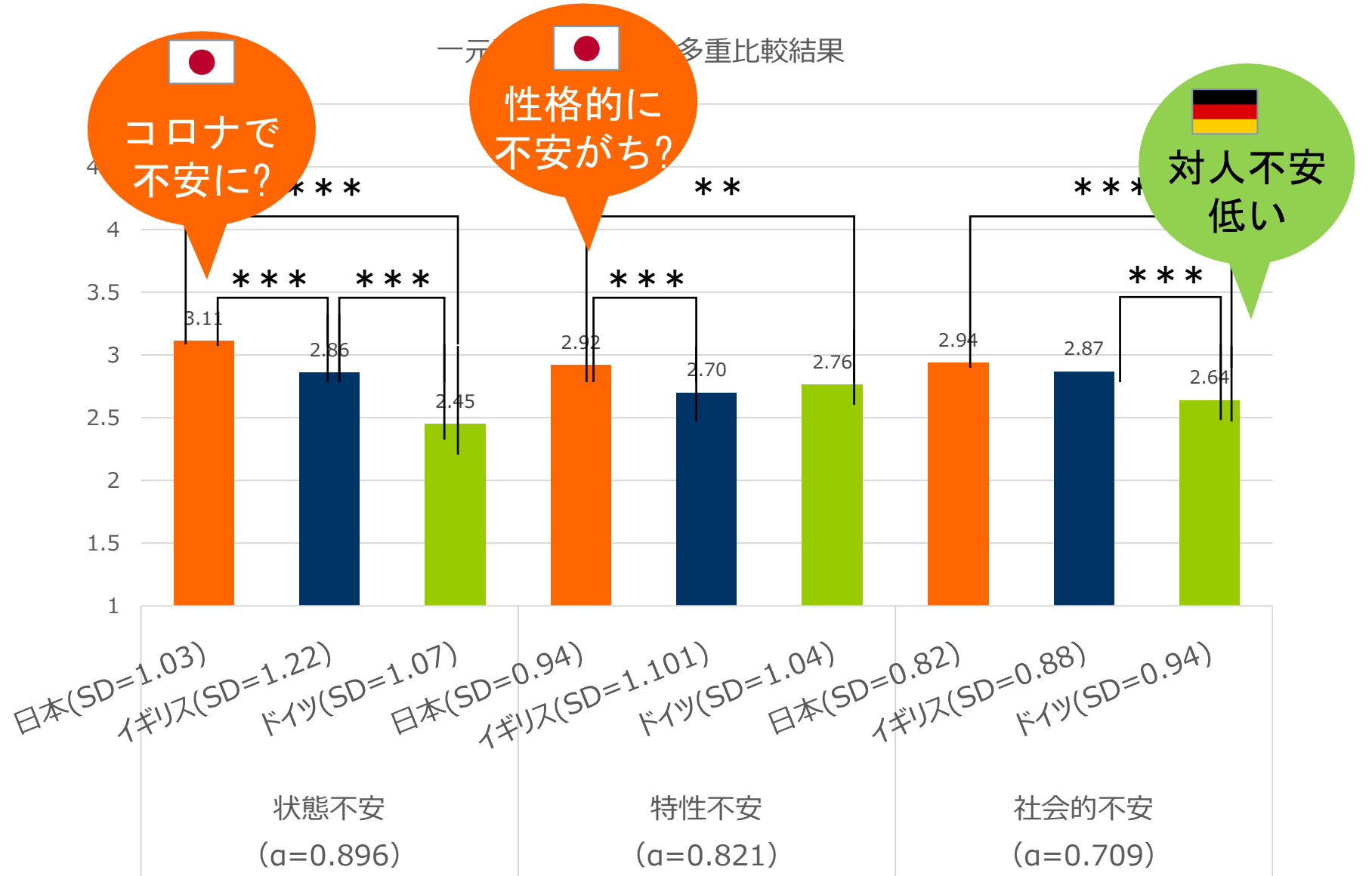
【社会的不安尺度Fear of Negative Evaluation Scale(FNE)】

対人面での不安を測定する尺度 (かつての「対人恐怖症」など)

自分がどんな印象を与えているのかいつも気になる / 他の人が私をどう思っているか気にかけないほうである / 私の友達が自分をどう思っているかをあれこれ考えてしまう

不安尺度の日英独比較 結果

一元多重比較結果



* : p<0.1, ** : p<0.05, *** : p<0.01

人々はCOVID-19の
リスクをどう捉えている？

リスク認知マップ

リスク・イメージの構成要素(1)

自動車と地震と飛行機、どれが一番こわい？

実際のリスクと、リスク認知の間にはズレがある
我々は、全てのリスクを正しく認知して判断している
のではなく、

その事象に対する何らかのリスク・イメージを形成し、
判断している

→ リスク・イメージはどのように形成されるか？

リスク・イメージの構成要素(2)

■ スロヴィックのリスク認知の2因子

因子Ⅰ：恐ろしさ因子 (Dread)

因子Ⅱ：未知性因子 (Unknown)

因子Ⅲ：災害規模因子 (Number of people involved)



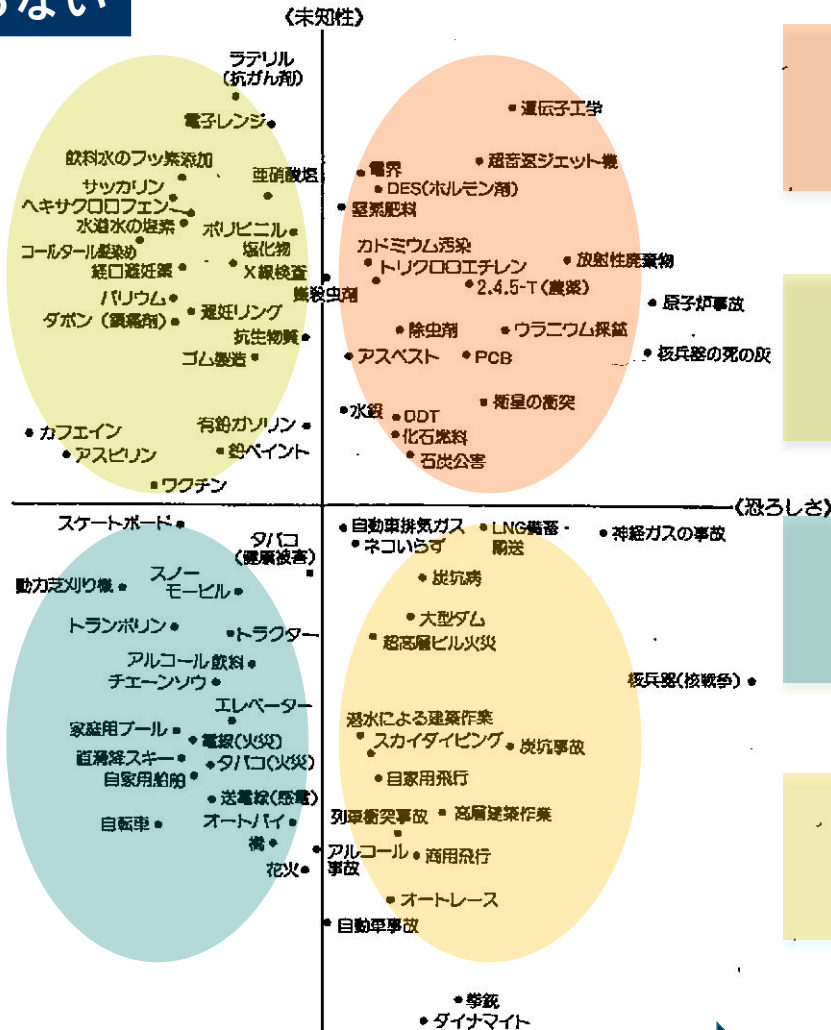
リスク・イメージの規定軸：

色覚知覚における3原色のように、これらの組み合わせで個々のイメージが形成されている

※本来はハザード毎に18個の質問でリスク認知を計測し、それを因子分析し、上記因子を抽出する。本研究では、回答者の負担を考慮し、以下の2項目を5件法で問うことにより、リスク認知を計測した。
「恐ろしいと思う」「よく知っていると思う」

リスク認知マップの意味

わからない



恐ろしい & わからない
例：遺伝子工学、原子炉事故

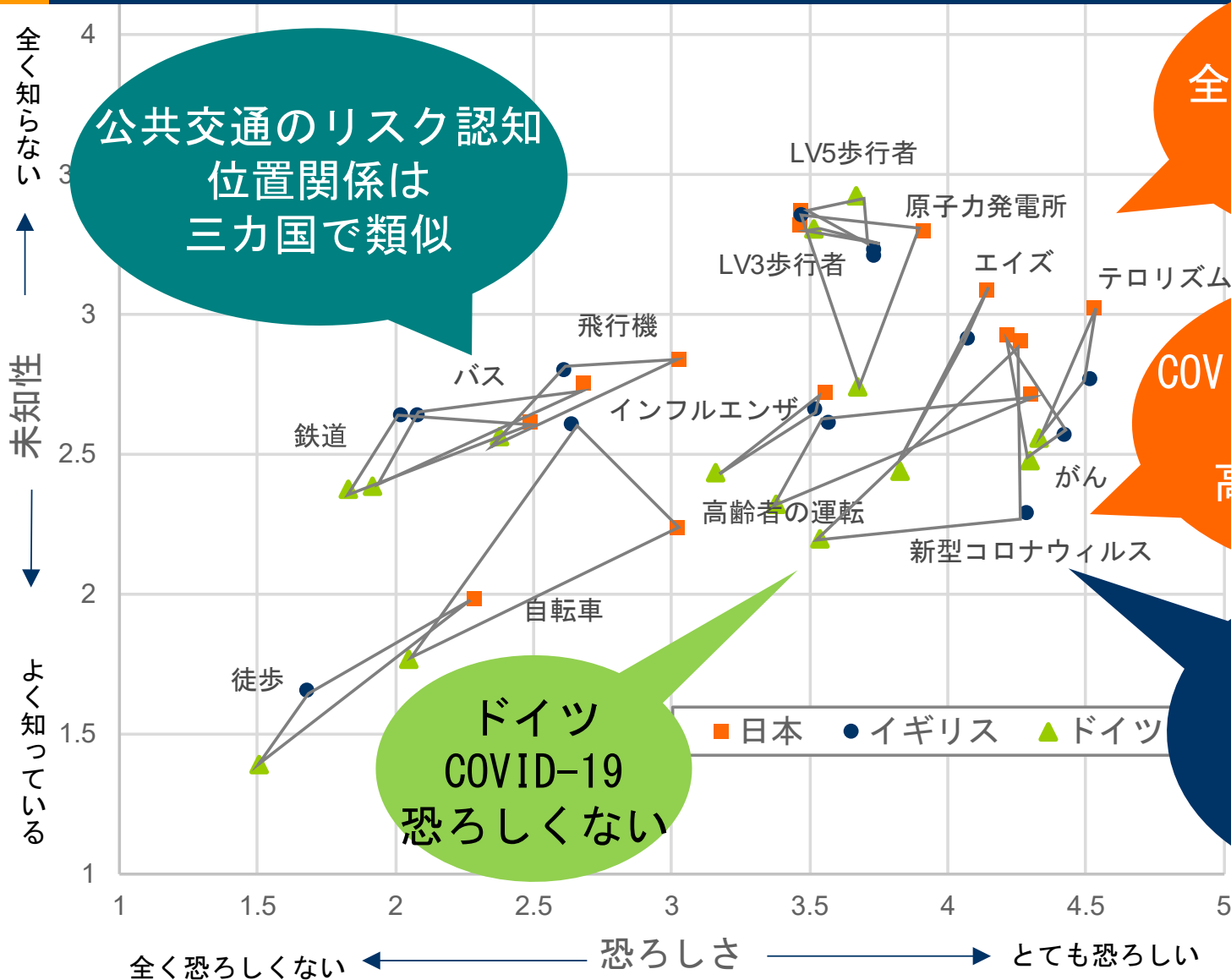
恐ろしくない & わからない
例：電子レンジ、カフェイン

恐ろしくない & わかっている
例：芝刈り機、自転車

恐ろしい & わかっている
例：ダイナマイト、核兵器

恐ろしい

リスク認知マップ：日英独比較



公共交通のリスク認知
位置関係は
三カ国で類似

日本人は
全てのハザードで
「恐ろしい」
と思う傾向

日本人の
COVID-19リスク認知：
癌，エイズ，
高齢者の運転と
同レベル

英国
COVID-19
恐ろしいけど
知っている


ドイツ
COVID-19
恐ろしくない

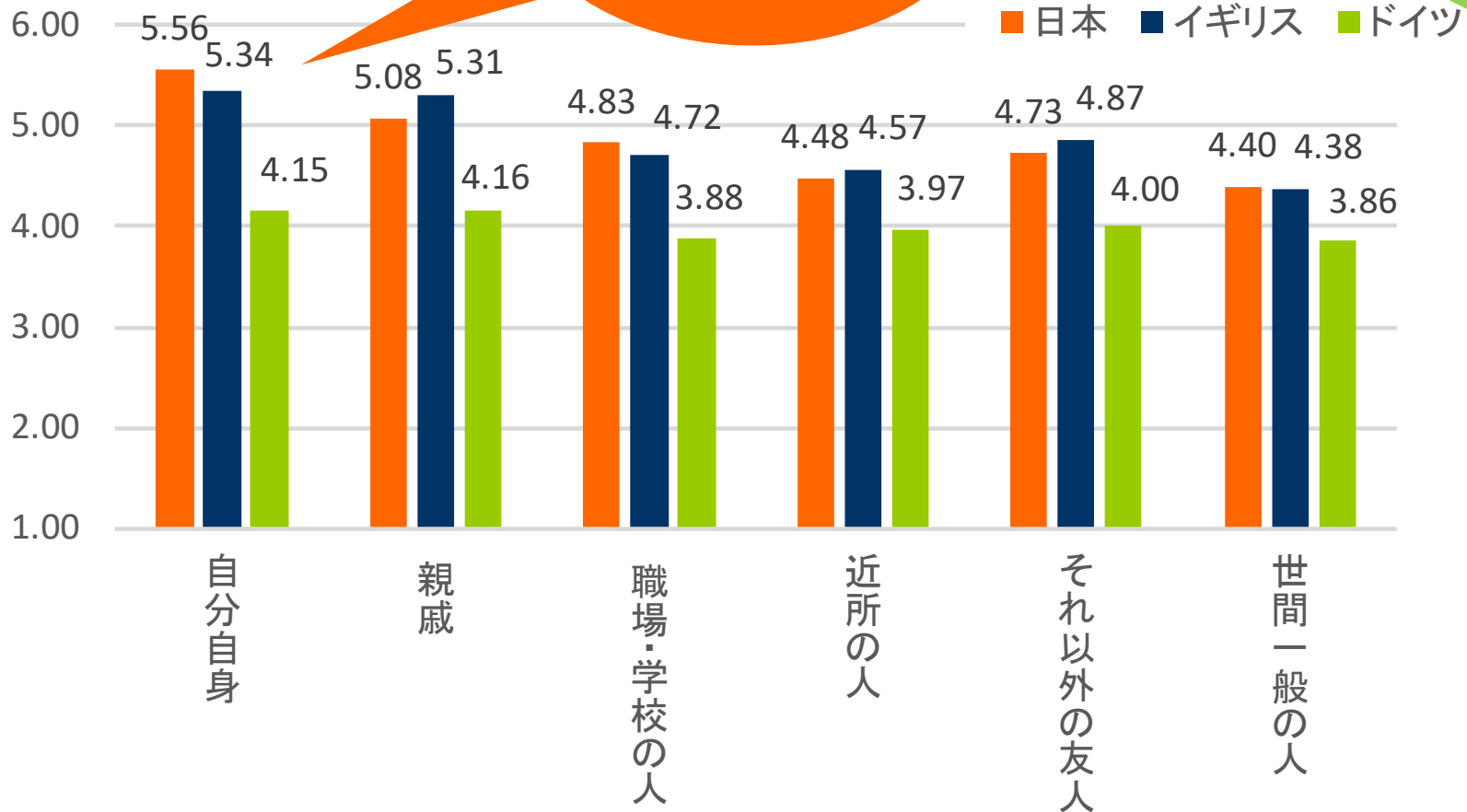
「みんな、自粛している」と思う？

■ 7 point scale:

1:まったく外出を自粛していない
7:完全に外出を自粛している

 自分は 
自粛がんばってる
でも、世間の人
はあんまり...


自分も周囲も
そこそこ自粛



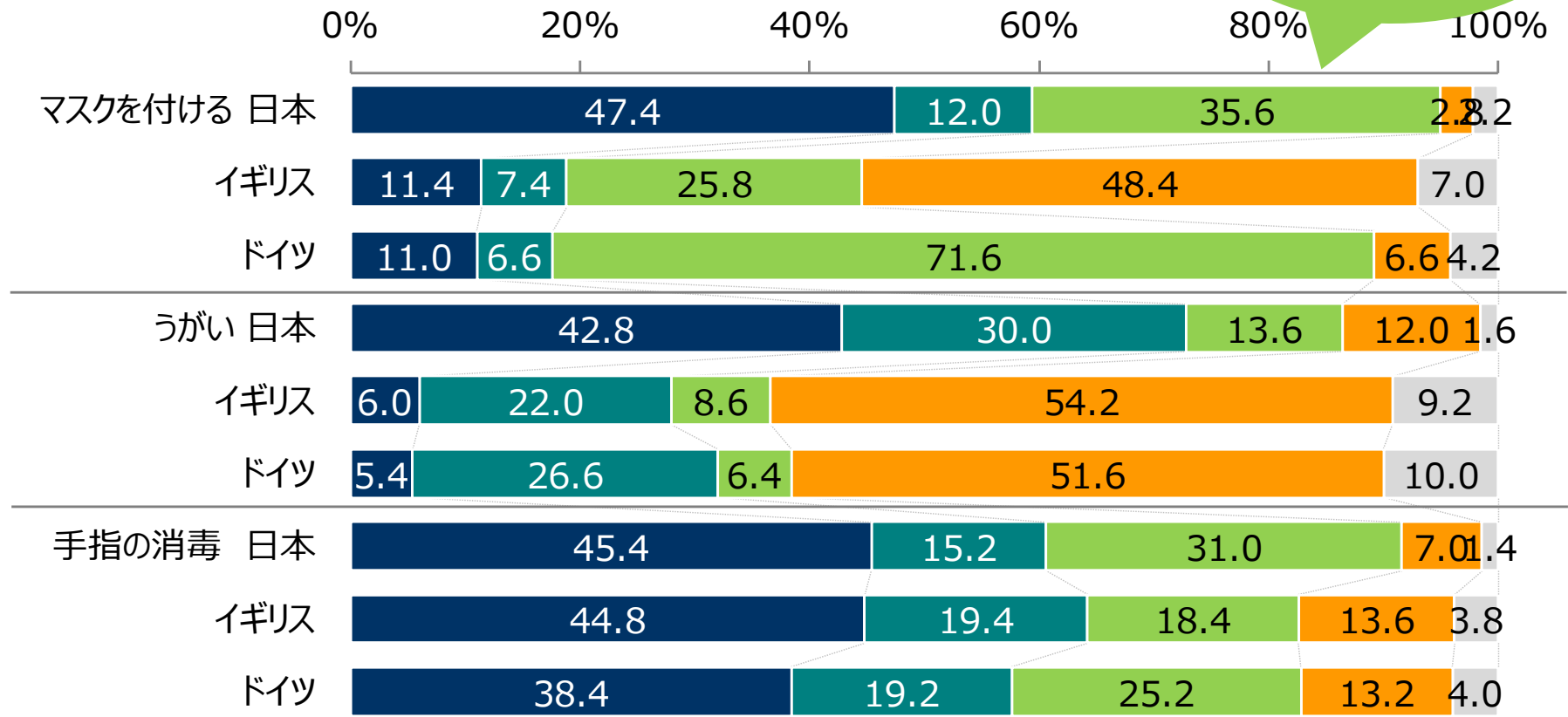
COVID-19対応：衛生行動


 マスク着用95%
 うがい実施86%


 マスク着用45%
 うがい実施37%


 マスク着用90%
 うがい実施38%

- 以前から行っているが、COVID-19 対応で頻度を増やした
- 以前と同等レベルで行っている
- 以前は行っていないが、COVID-19 対応で頻度を増やした
- 行っていない
- どれにも当てはまらない



新型コロナウイルス拡大前後
の外出活動の変化
-週当たり平均回数
の拡大前後比較-

新型コロナウイルス拡大前後の外出活動の変化 -週当たり平均回数の比較-

19

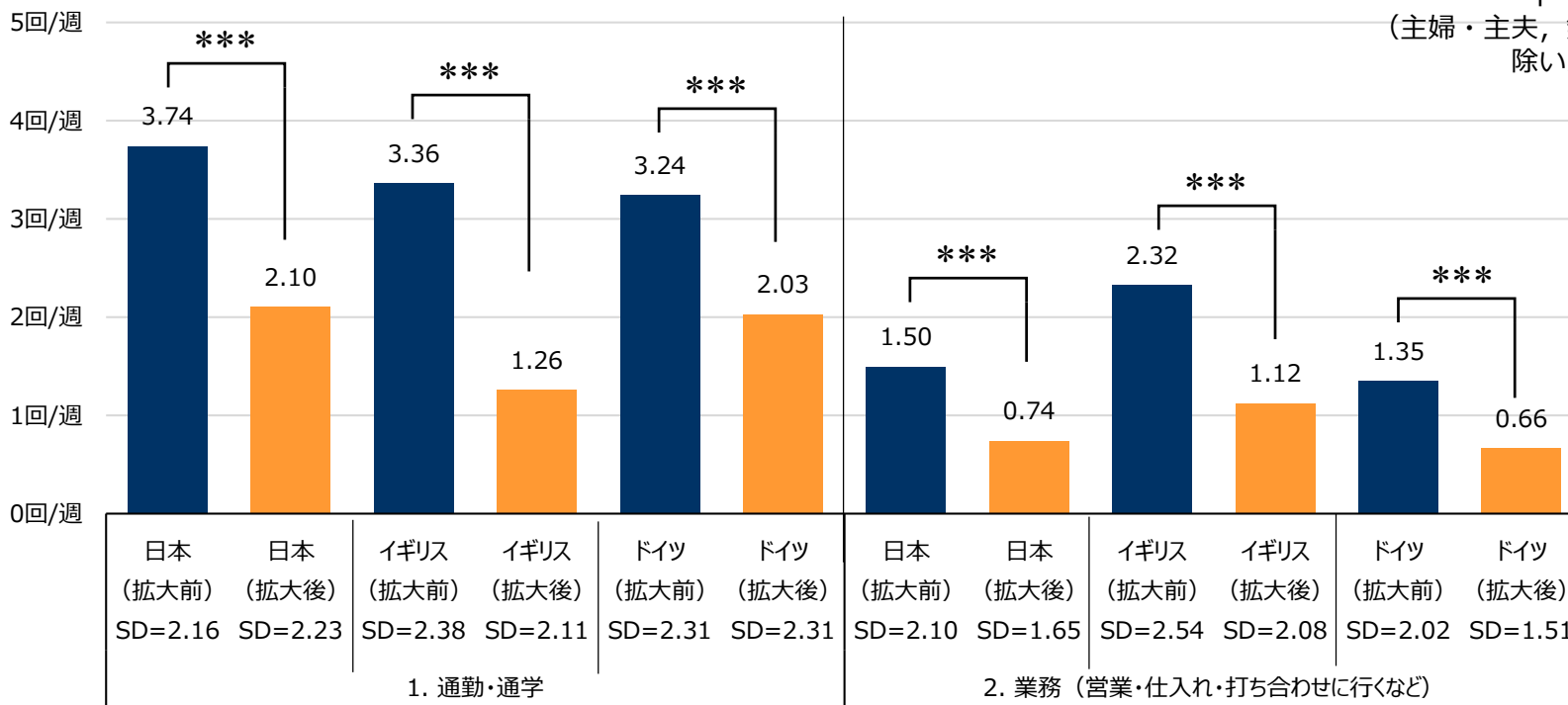
外出活動の頻度	週当たり回数
全く行っていない ・該当しない	0回
月1回未満	0.1回
月1回	0.25回
月2回	0.5回
月3回	0.75回
週1回	1回
週2回	2回
週3回	3回
週4回	4回
週5回	5回
週6回	6回
週7回	7回
週8回以上	8回

「Q19:外出活動の頻度」への
回答をもとに、連続変数である
週当たり回数を算出

通勤通学・業務

感染拡大前後における各外出活動の週当たり回数の変化

日本 : n=383
 イギリス : n=376
 ドイツ : n=376
 (主婦・主夫, 無職・退職を除いたサンプル)



* : p<0.1, ** : p<0.05, *** : p<0.01

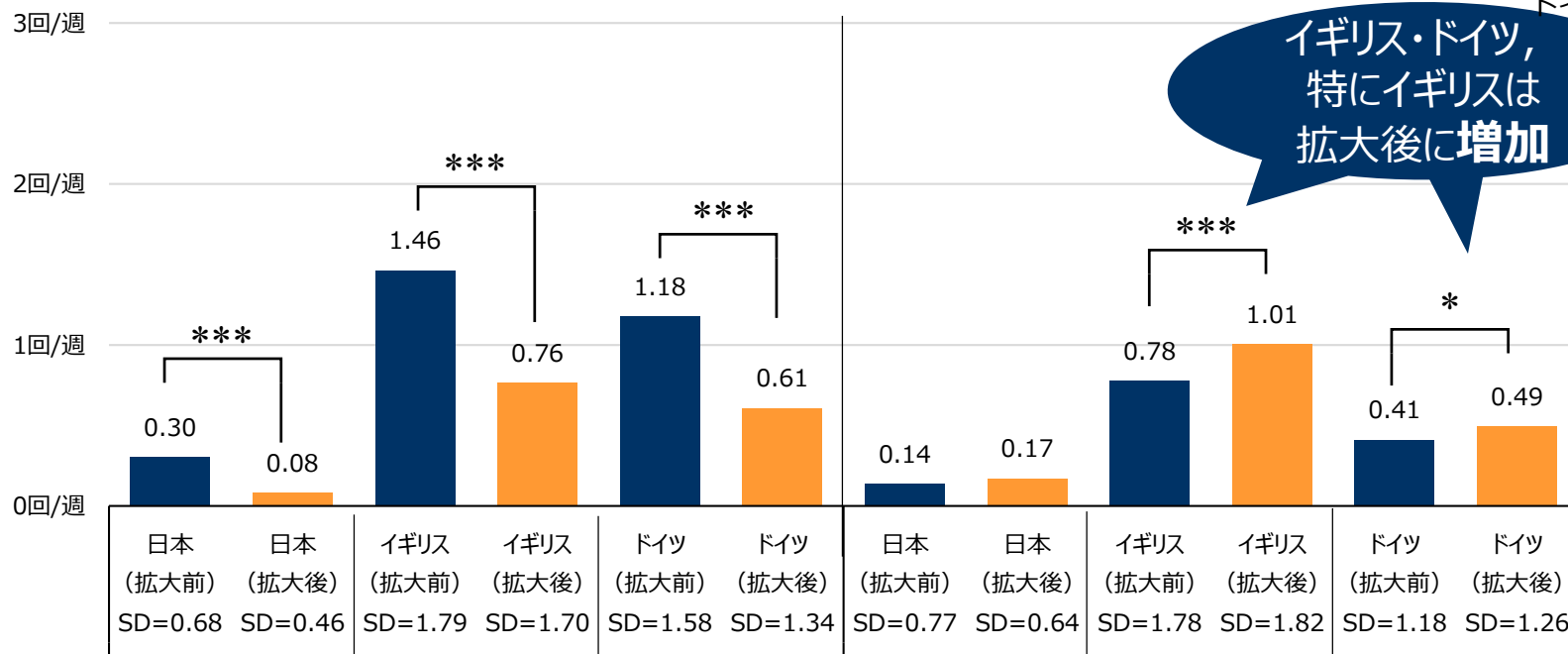
通勤通学
半減

通勤通学
2 / 3 減

通勤通学
1 / 3 減

感染拡大前後における各外出活動の週当たり回数の変化

日本 : n=500
イギリス : n=500
ドイツ : n=500



イギリス・ドイツ、特にイギリスは拡大後に増加

余暇・レジャー活動(他の人と)

オンラインでの会合(飲み会含む)

* : p<0.1, ** : p<0.05, *** : p<0.01

ただでさえ少ないのに 3/4減

半減

半減

有意差なし

3割増

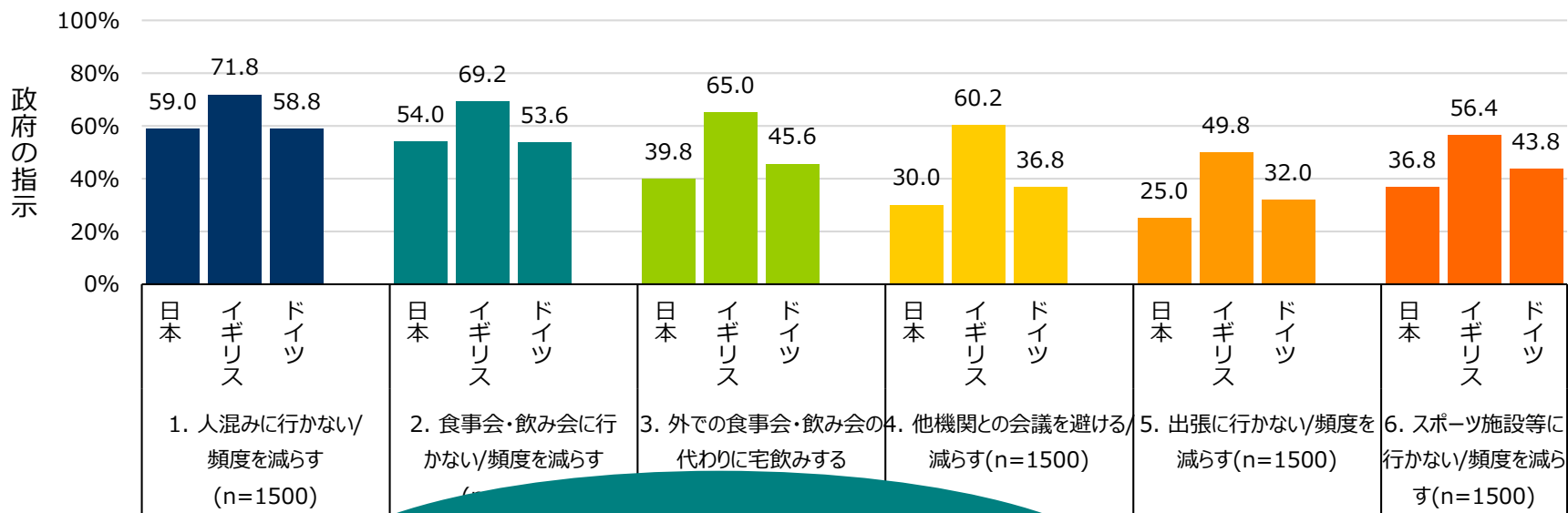
2割増

誰の指示で行動変えた？

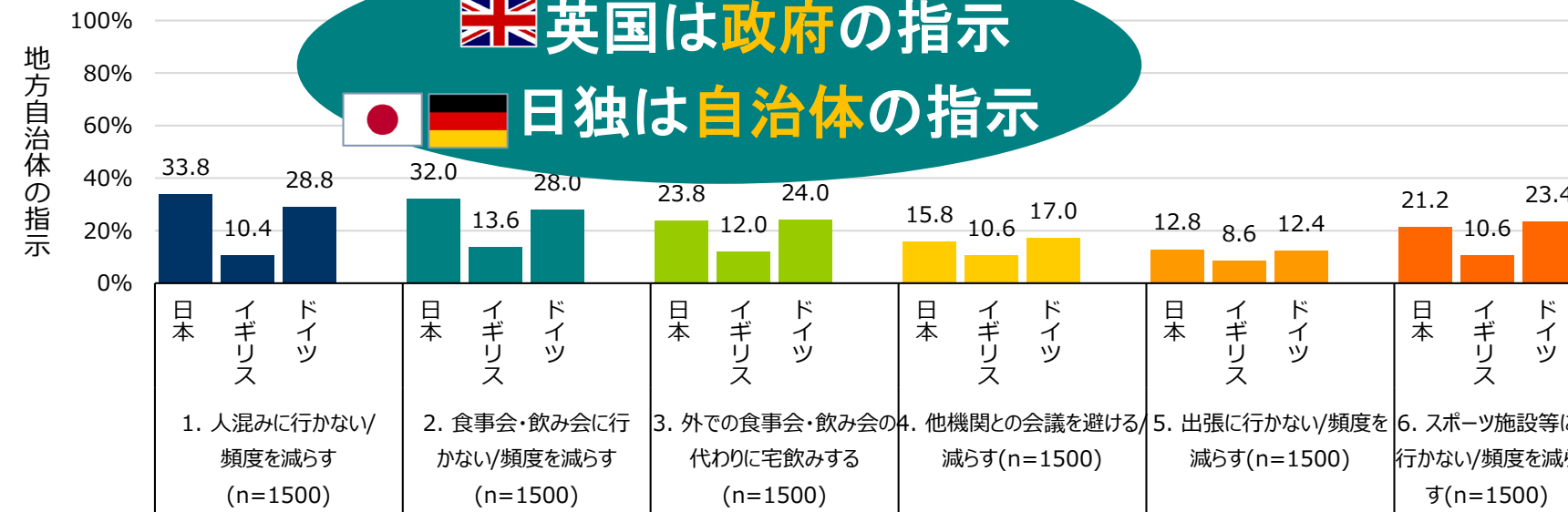
新型コロナウイルスへの対処行動①：政府・自治体の指示

23

Q17S1：新型コロナウイルスCOVID-19への対応として、あなたは次の対処行動を行っていますか。行っている場合、それはどこからの指示や勧めによるものですか。(いくつでも可)



英国は政府の指示
日独は自治体の指示



Thank you for your attention



Public Psychology Lab., University of Tsukuba